



中城村

ぎ"かいだ"より

題字：津覇小3年 西波照間 愛

もっと

知ろう

みんなの議会

一生懸命がカッコイイ!!
全力全開 中城中の体育祭



第29号
平成23年 9月議会



平成22年度一般会計歳入歳出決算

ズバリ

中城村の **お金** の使い道

中城村に入ったお金

歳入総額：59億4,925万4,542円

中城村が使ったお金

歳出総額：57億7,315万9,943円

残ったお金

差引残額：1億7,609万4,599円

つまり

平成22年度の予算のうち、これだけ使いました

執行率
97%

ちなみに

前年度と比較すると
(平成21年度) 歳入は、4億2,291万 43円 (7.7%) の増
歳出は、4億6,689万8,032円 (8.8%) の増

— 決算審査報告 —

各常任委員会へ付託された決算議案の審査においては、違法及び不当等の事項は特にありませんでしたが、今後の予算執行に関し、以下の留意事項を指摘しました。

◆一般会計

- ①住宅政策、税制の面から、長期的な土地利用計画を考える必要がある。
- ②ゴミ処理施設の調査を踏まえ、的確な修繕計画を立てて、維持管理費を抑制する必要がある。

◆国民健康保険特別会計

- ①職員の専門的研修や先進地視察等が行われてない。職員の資質向上のためには必要であり、実施すべきである。
- ②特定健診の受診率向上のために、村民への周知徹底、地域特定病院(村内医療機関等)への協力要請の強化取組みを継続する事。

◆公共下水道事業特別会計

- ①下水道への接続率が低く、積極的に接続を推進する必要がある。

◆水道事業会計

- ①有収率が前年度より低くなっている。遠隔監視システム等を活用し、漏水防止に努める必要がある。

3常任委員会(総務委員会、文教社会委員会、建設委員会)で慎重に決算審査を実施しました。

特別会計の使い道は？

ズバリ
こうなります！

認定第2号

認定

国民健康保険特別会計

歳入総額 22億5,820万2,042円
 歳出総額 21億6,400万4,325円
 差引残額 9,419万7,717円

前年比では、歳入が1億273万5,208円 (4.8%) 増
 歳出が 4,039万4,247円 (1.9%) 増

認定第3号

認定

後期高齢者医療特別会計

歳入総額：9,963万5,035円
 歳出総額：9,830万 716円
 差引残額 133万4,319円

前年比では、歳入が369万8,936円 (3.9%) 増
 歳出が268万6,729円 (2.8%) 増

認定第4号

認定

公共下水道事業特別会計

歳入総額：3億4,147万8,118円
 歳出総額：3億3,891万6,562円
 差引残額 256万1,556円

前年比では、歳入が1,998万9,414円 (6.2%) 増
 歳出が1,906万8,488円 (6.0%) 増

認定第5号

認定

土地区画整理事業特別会計

歳入総額：7億 775万9,881円
 歳出総額：4億5,215万7,176円
 差引残額 2億5,560万2,705円

前年比では、歳入が1億3,124万2,978円 (22.8%) 増
 歳出が1億3,564万8,983円 (42.9%) 増

認定第6号

認定

老人保健特別会計

歳入総額：30万4,395円
 歳出総額：30万4,395円
 差引残額 0円

老人保健特別会計は、平成19年度をもって制度が廃止された為、精算業務が主な業務となっている。

認定第7号

認定

水道事業会計

収益的収入：4億2,988万5,584円
 収益的支出：3億9,874万4,899円
 資本的収入：4,100万1,000円
 資本的支出：1億909万3,206円

健全化判断比率及び資金不足比率

平成22年度決算に基づく、財政健全化判断比率及び、資金不足比率はそれぞれ次の通りで、「財政健全化法」で定める財政運営の問題は特にありません。

■健全化判断比率(%) ※実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は「-」表示

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
中城村の実績	-	-	11.9	114.4
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

ポイント
実質赤字比率・連結実質赤字比率…財政運営の深刻度を示す。
実質公債費率…資金繰りの危険度を示す。
将来負担比率…将来財政を圧迫する可能性を示す。

■資金不足比率(%) ※資金不足額がない場合は「-」表示

	水道事業会計	公共下水道事業会計	土地区画整理事業会計
中城村の実績	-	-	-
早期健全化基準	20.0	20.0	20.0

ポイント
資金不足比率…公営企業の経営状態の深刻度を示す。

財政健全化法とは？

KEY WORD

正式な法律名を、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」と言い、財政状況を統一的な指標で明らかにし、財政の健全化や再生が必要な場合には迅速な対応をとるための法律で、上記指標の公表が定められている。尚、指標が法律で定める値を超えた場合には、健全化計画、再生計画を立て、国の承認を得なければならない。

議員 当間土地改良区域の農道舗装工事がどういった理由でだめになったか。
農林水産課長 当間土地改良区理事会の中で農道舗装の採択ができない。同意できないという事で事業の執行ができなかった。
議員 改良組合は、清算業務、利子償還は終わっていると思うが、いつ解散できるか。
農林水産課長 既に平成二十二年度で利子補給金の償還も終了しました。

農道舗装整備

金城 章 議員



GA
一般質問
平成二十三年
九月定例議会

しかし改良区の中に清算金が、まだ清算されていない、清算総会、解散総会を開けない状況にあつて、解散できない。これについても早期に理事会の中で今度どう整理、検討し、解散して、村に財産移管してもらつて、諸問題の解決に取り組んでいきたい。
議員 この組合解散が可能なら、農道整備は早めに進むか。
農林水産課長 去年は改良区の理事会の承認が得られずに事業が執行できなかった。解散して村に財産移管されたら、交付金補助率、国八十%、県十一%、村九%の高率補助事業交付金を活用し、早めに調整、執行できたらと考えています。
観光行政
議員 中城村の観光計画、客の誘致をどう考えているか。又城跡の発掘調査を観光につなげていく考えはあるか。
企業・観光課長 今年は

便益施設の整備をしています。観光客の誘致については、とよむ中城文化遺産活用事業で中城城跡、歴史の道、各地域の伝統行事、伝統芸能、工芸など映像化してインターネット、携帯電話で検索して、中城観光ができる様に努めていきたい。又、本村は宿泊施設がないのが課題ですので、これもNPO法人、商工会との連携で体験学習宿泊事業の支援に取り組んでいきます。歴史の道は景観がいい事もあり、国土交通省の日本風景ガイド琉球歴史浪漫街道の宿泊に登録し、中城城跡をアピールする全国版へ今年登録しております。
生涯学習課長 発掘調査は危険も伴います。調査を見せてあげたいですが、今後教育に使えるかどうか検討する余地があると思っています。

他に、「久場前浜線、第四次総合計画、遊休地問題」についての質問もありました。



防災（減災）対策

仲 座 勇 議員

議員 津覇幼小、中城幼小、中城中の村内各学校での訓練、道路、場所確認、対応対策等は。

教育総務課主幹 津波に
対応した計画を各学校で
六月までに作成し、中城
幼小の一次避難場所をコ
カコーラ、二次避難場所
を春華園とし、津覇幼小
は一次避難場所を校舎裏
の高台、体育館裏駐車側
の高台、二次避難場所を
南上原分校、中城中は新
垣の区民運動場としている。
議員 災害弱者、土壌の
液状化の対応対策等を伺
います。
総務課長 日ごろからの

災害弱者の所在情報の把握や受け入れ施設の確保等の対策を講じ、福祉課、社会福祉協議会、民生委員、自治会関係機関と連携を密にし、安全確認、避難誘導を行い安全を確保しますを硬化剤を地中に注入して地盤を固める方法、建物が建った後は基礎から地中に杭打ちの方法がある。

議員 企業（商工会、スパー等）との災害協定等を伺います。
総務課長 沖縄ココロラボトリング株式会社と災害時に飲料水を無料提供する協定を結んでいる。今後は民間企業と一時避難場所としての協定締結ができないか調査検討しています。

議員 南上原へ登又の対応等を伺います。
村長 上地区へ避難路の確保が一番大きな課題だと思っております。上まで行けない場合の一時的避難場所を確保していきたい。
議員 琉大教授の次世代防災マップを村当局も活用検討中との事ですが、どのようにしていくか。
総務課長 村民ができる

だけわかりやすいような防災マップの作成を検討しています。

公共施設の維持管理

議員 糸浦公園街区公園（六ヶ所）、歴史の道の継続管理等を伺います。
都市建設課長 糸浦公園は工事施工中で、平成二十五年度供用開始に向けて検討し、管理していく。

議員 防犯カメラの設置の検討は。
都市建設課長 必要とあれば検討課題となる。
議員 老朽化も進んでいる庁舎建設、避難場所も含め上地区、下地区のバランスある発展も含めて中城村から宜野湾市に通じる中心となる道路建設が必要と思われるが。

村長 庁舎建設は緊急の課題と認識をしております。防災にもしつかり対応できる庁舎建設が特に下地区で必要じゃないかと思っております。避難道路について、はしご道路、東西の道路が中城には必要性は当然認識をし、議員からも提案いただきながら、予算化に向けて頑張っていきたい。



ハザードマップの改訂

新 垣 徳 正 議員

議員 ハザードマップの改訂は。

総務課長 今回の東日本大震災により、各市町村が防災計画も含め見直しを迫られており、見直しを行いたい。津波の被害想定や浸水域等県の規準を準用しなければならぬので、県が進める防災計画の見直し後か、あるいは県の被害想定が決まってから改正になるかと思う。

議員 防災、減災への取り組みは。

総務課長 地域防災計画に基づく対策本部の設置、

避難経路の指定、海拔標示板の設置、また自治会単位での自主防災組織設立の推進等を計り、その後の防災訓練等などの実施に取り組み。

議員 災害弱者への対策は。

福祉課長 福祉課で把握している災害弱者、災害時要援護者については、担当職員による電話での確認作業を行っている。村内施設利用者については、各施設に協力要請を行い対応している。地域に於いては、民生委員、社会福祉協議会と連携を取り対応している。

村長 防災に関しては村長の私が陣頭指揮を執ってやるのが当然である。その中で災害弱者と言われる方々をどうするのか、地域の協力はもちろんだが、率先していくのは役員職員だと思っている。役場全体で災害時の人員的な配置を防災計画の中で作っていききたい。

台風関連

議員 台風災害への取組みは検討なされたか。

住民生活課長 前回の一般質問での検討要請についてですが、台風時の外部からの飛散物に関しては、住民から要請があったものは全て回収しました。今後も要請があればそのように行います。

議員 「むつみ」のプレハブ施設が全壊したが対応は。
総務課長 プレハブ撤去については補正予算で対応、再建築に関しては、福祉センター全体の利用方法も含め、補助メニュー等も調査しながら早急な方法を検討し進めている。

議員 停電による在宅医療器具のトラブル等、実態の把握は。
福祉課長 村内に於いて電気式の「たん吸引機」の利用者は四人いらっしゃいます。充電式で、一日停電があっても心配はないと利用されている方からありました。長引く場合は、かかりつけの医療機関との連携が図られています。



吉の浦LNG 火力発電所

新垣光栄 議員

議員 LNG気化器の冷排水活用事業の課題は。
企業・観光課長 実行可能性と生産性です。
議員 最大の問題は、土地の確保と冷媒の確保だが、一号機二号機に気化器配管が設置されているか。
企業・観光課長 計画されていません。ただ、三号機、四号機につきましては、実行可能・生産性のある事業を計画し、調整をしている。
議員 村を挙げて取り組まないと全てが夢に終わ

つてしまいます。村長、執行部が計画段階から取り組むことを提案したい。
村長 村も、最優先事項だと言っていると思います。必ずやっつけていきたい。
議員 すぐに着工出来るよう綿密な計画を立てていただきたい。

中城城跡整備事業

議員 城跡整備工事に伴う隣接地域、登又・新垣の開発計画は、どのように考えているか。
村長 登又地域を中心とし、市街化に向けての取り組みをやっつけていきたい。
企画課長 土地利用としては、自然緑地の確保をしながら市街化に向け、計画的に進めていきたい。

議員 世界遺産にふさわしい普遍的な価値のある地域を、子ども達に残していく責任がある。計画をいつからやっつけていくのか。
企画課長 地権者、調整区域をクリアしたうえで、内部で協議させて頂きたい。
議員 地権者の問題とか言っているのは、行政の逃げです。地域をまとめ

ていくプロセスが地域を育てていくということですから。このプロセスを大切にしないと世界に誇れる観光地に成り得ないと思います。執行部、頑張ってください。

ごみ・廃棄物問題

議員 維持管理費の抑制は。
住民生活課長 修繕計画を立て、的確な計画のもとに修繕を進めなければならぬ。
議員 維持管理費が三億以上、稼働率が一〇四％と問題がある中。六月二日から九月二日まで何の審議もなされていない。清掃組合議会も頑張ってください。また、ゴミ減量化の認識も大切だと思いますので、意識向上のために与那原町の行っているアンケート調査、取っ手の付いたゴミ袋の導入など、いろいろな政策を試みるのも意識の向上のために大切ではないか、提案します。

ていくプロセスが地域を育てていくということですから。このプロセスを大切にしないと世界に誇れる観光地に成り得ないと思います。執行部、頑張ってください。

安全・安心の 地域づくり

宮城治邦 議員



議員 本村の農業振興に
 関し、台風等による塩害
 及び潮害対策に必要な検
 討課題は。
農林水産課長 護岸の整備、それから防風林や暴風垣等を設置することに
 よって被害軽減を図る必要
 があると申す。潮害につ
 いては、我々農林サイド
 から農家に対し、できる
 だけ速やかに水の散水を行
 行って除塩をするよう指
 導を行っていききたいと考
 えております。

九号で護岸及び住宅敷地内に打ち上げられ、生活環境や景観が悪化しているが、原状回復への処理責任はどこにあるか。
都市建設課長 高潮対策事業により整備された久場地区の護岸については、原則的には県に維持管理義務があります。台風九号の翌日には中部土木事務所が対応をしております。
議員 電源立地地元住民の安全・安心を担保するために、吉の浦火力発電所に関する第三者協議会の設置を六月定例会で要望したが検討はされたか。
企業・観光課長 六月定例会の一般質問でも設置要望を受けております。その後七月十一日に沖縄電力に設置の方向で要請をしている所である。
議員 久場区路線番号一・一九・一八二道路の改修、改善要望をしたが、実施計画はあるか。
都市建設課長 きしみの音が特にひどい箇所については、平成二二年度三月に一六〇m終えていま

企業立地・観光 推進課の課題

議員 本村における農業振興と企業誘致の土地利用の整合性をどう調和させるか。
企業・観光課長 国土利用計画、総合計画による土地利用の方針があります。その中で平坦地における農地の高度利用を促進しつつ、農業関連施設の整備や商業工業用地の適正配置、誘導によって合理的な土地利用を図っていく考えであります。

す。残りの箇所については、今年度の維持費で順次改善していきたいと思っています。
議員 農用地及び市街化調整区域において、企業誘致に要する土地をどう確保するか。
企業・観光課長 本村はほぼ市街化調整区域であります。開発には規制が伴うことではありますが、企業立地に要する土地の確保については、市街化区域編入し、用途地域の指定を受けることが必要と認識しております。



災害に強い村づくり

仲 眞 功 浩 議員

議員 災害発生時の避難路の選定と整備計画はどのようになっているのか。

総務課長 避難防災計画の中では避難経路の指定はされておりません。全自治会長と先月（八月）に道路を現地踏査をした。どの路線がいいのかというようなことまで含めて検討し、最終調整をして承認を得た時点で指定に向けてやっていきたいと考えているところだ。

議員 これは急がなければならぬ問題です。避

難訓練は毎年実施しなければならぬし、実施するに当たっては指定された避難経路でやらなければ意味がない。又、選定された避難経路は必要があれば整備しなければいけない。整備されないまま避難訓練をさせたら何が起るかわからない。避難経路の整備計画を早急にやって頂きたい。

自主防災組織の結成

議員 地域の自主防災組織の状況と今後の計画はどうなっているのか。

総務課長 自分たちの地域は自分たちで守るという自覚、連帯意識のもと、自主防災組織の設立が重要であると認識しており、各自治会長に呼びかけているところです。

議員 災害は地域を問わず同時に広範囲に、いろんなレベルで対応しないといけないため、行政としてはどうしても無理が出てくる。そこを補完す

るところの自主防災組織がどうしても必要だということを理解して頂いて結成に結びつけて頂きたい。災害に強い村づくりの位置づけとして自主防災組織の結成を第四次総合計画に組み込んで頂きたい。

避難ビル、タワーの建設

議員 幼い子供や高齢者、身体の不自由な方や妊婦、即ち災害時要援護者は諸々の理由による逃げ遅れが原因で、災害の被災者となるケースがあります。それを解決する一つの方法として津波避難施設の建設がありますが、村長はこの避難ビル、タワーの建設についてどう思いますか。

村長 優先的に考えなくてはいけないのが、海岸線に張りついている集落です。上地区に逃げていくには大変な距離になる部分はどうしていくのか、避難タワーも含めて、複合施設を考えております。

原発災害



安 里 ヨシ子 議員

議員 福島第一原発事故は日本だけでなく、世界の人々に大きな衝撃を与えました。被害ははかり知れませんが、放射能汚染は長期に渡って続くと言われ、特に子供の健康被害が心配されます。人間社会、地域社会そのものを破壊する危険性を持っています。それについて村長の見解を伺います。

村長 個人的にはない方がよい。

議員 原発事故後の学校給食、保育所の給食は、

教育総務課主幹 安全な給食を提供するため、県教育委員会、学校給食会、業者等の注意喚起の文書に対応、細心の注意を払っている。

福祉課長 保育所の食材については、農協経由でとりよせ、産地の確認等安全に配慮している。

議員 ホームセンターで販売されている腐葉土からセシウムが検出された。村としての対応は。

総務課長 村民からの問い合わせはない。県の営農支援課と連携して対応していきたい。

農業委員会の使命と役割

議員 農業委員の活動が見えにくいのが、委員会がどのような目的で設置され、運営されているか。

農林水産課長 農業委員会は、法律の規定により、生産力の発展及び、農業経営の合理化を図り、農業を営む者の地位向

上に寄与するのが目的。

議員 農業委員の選挙にあたって、登録、申請、更新等厳密に審査されているか伺います。

農林水産課長 選挙人名簿は毎年一月十日までに受理、事務局と委員が一緒に三つの要件をみているか審査、総会において審査結果に基づいて選管に送付している。

議員 農業委員協議会を立ち上げ、事務局から出されたものだけ審議するのでなく自ら企画立案、調査研究し、総会で提案していただきたい。今問題になっているTPPですが、これが導入されると県の砂糖キビはもろろん日本農業は壊滅するといわれ、医療、金融、水産業、雇用等、アメリカに国民生活のあらゆる部分を売り渡す事になる。農業委員として研究してもらいたい。



災害時対策及び避難経路

新垣博正 議員

議員 伊集、和宇慶地域から南上原に向けての里道整備、維持管理の必要があると考えるが。

都市建設課長 村内には多数の里道、水路地区が点在しており、通常これらの法定外公共物は、受益者負担で維持管理している。また、災害時の避難経路として整備する場合は一般財源であり厳しく、今後の課題である。

議員 村道伊集拝所線上分は、周辺に遊林農地が増え、道路自体の維持管理がなされず荒れ放題である。排水路も含め整備する必要があらうと思うが。

都市建設課長 路線の一部に通行に不便な状況を確認した。当面除草などを行い機能回復に努め、利用頻度を考慮し整備を検討したい。

議員 村道添石中央線沿いの国道下河川は台風などの豪雨の際は危険な状況であり、改善する必要があると思いが所見を伺う。

都市建設課長 現状を調査し、改善を要する箇所があれば対処する。

議員 和宇慶地内、川崩原土地改良区内の整備済み農道より水がしみ出ているが、状況を把握しているか。

農林水産課長 指摘の箇所は整備以前、河川であり、そこを埋めて農道にした経緯がある。暗渠の排水管を敷設し改良したが、雨天が続くと水がしみ出してくる。ひどくなるようであれば改善を検討する。

教科書採択問題

議員 教科用図書八重山採択地区協議会が現場教員による順位づけの廃止や無記名投票の導入など

教科書選定の手法を変更、戦後教育を否定する問題にまで発展した。同問題に対する所見を伺う。

教育長 戦後、沖縄県の学校教育は、沖縄戦の実相を正しく伝え、戦争の惨意と考える。教科書採択に当たっても地域性を第一にし、現場教師の調査研究結果を踏まえ、十分な議論を重ね適正に採択されるべきである。

議員 中頭地区における採択協議の経緯を伺う。

教育長 五月に第一回の採択協議会を行う。その際の委員は各市町村の教育長がなる。次に各教科の専門性を生かした研究員を教科ごとに三、四名及び指導講師一名を委嘱する。一ヶ月ほどの調査研究を経て推薦教科書を三つほどに絞り込む。地区内九カ所で移動展示会をし、父母や現場教師からの参考意見を集約。委員の質疑応答を行い全員の合意により決定する。投票などは行わない。

小中学校図書館の施設整備



与那覇朝輝 議員

議員 住民に光をそぐ交付金事業として、小中学校図書及び、施設整備に九八一万円余の予算が計上されているが、事業計画及び、進捗状況はどのようなになっているか。

教育総務課長 両小学校に各三百万円、中学校に三八一万円余を振り分け、その七割を図書購入に充てる予定です。現在、図書館司書にま

とめてもらっている最

中です。

議員 各校の蔵書冊数、生徒一人当たり冊数、図書室の広さはどういうになっているか。

教育総務課長 中城小は蔵書約一万六千三冊、(三三・五冊/人、広さは二一〇・七七㎡)、北上原分校はそれぞれ千七百四冊、(一〇六・七冊/人、七二・九㎡)、津覇小は一万二千五三四冊、(二八・九冊/人、一三三・九五㎡)、北上原分校は、千七八三冊、(二七冊/人、七四・七㎡)、中城中は一万三千五一四冊、(二八・八冊/人、二〇三・四九㎡)となっている。

議員 各校共、広さは十分に確保されているか。

教育総務課長 文科省の基準では一クラス分の面積八〇㎡前後があればいいとなっており、特に問題はない。

議員 図書の購入時期がバラバラで、購入図

村道城跡線改良工事

議員 用地購入や物件補償など契約状況はどのようなになっているか。

都市建設課長 去る八月末現在で幼稚契約は八八筆の七三%、補償契約は三二件の七〇%の契約が終了している。

議員 工事開始は、いつ頃を予定しているか。

都市建設課長 今年度は、大瀬線を機転として八十mの新設区間の工事を予定しており、来年一月発注予定である。又、集落内生活排水路整備も総延長五一二m、早ければ二四年度から事業開始予定である。

農業政策



新垣健二 議員

議員 本村の農業は担い手育成対策や遊休農地対策、農業振興地域における土地利用規制など多くの課題があります。去った六月議会において、食料、農業、農村基本条例も可決をしており、今後、農業に対する施策が重要になってくると思います。基本条例の中に農地バンク制度の活用とあるが、従来の農地銀行との相違点は。

農林水産課長 従来の農地銀行は農業委員会が貸借等の調整を行う制度でありました。今回の農地

バンク制度は、平成二十一年度の農地法の改正に伴い、農業経営基盤強化促進法に新たに、村が事業主体となって、農地の所有者から委任を受けて、代理で農地の貸し付け等を行う制度が追加されたということでもあります。

議員 農地バンク制度に伴って、農薬やサトウキビの種苗配布等の支援策も充実したものにしていかなければならないと思うが。

農林水産課長 耕作放棄地帯策と抱き合わせながら、採田圃の設置をして、サトウキビ農家に十分配布できるように施策も必要だと考えております。

議員 基本条例の中に、優良田園住宅の建設の促進に関する基本方針を設定するとあるが基本方針策定までのスケジュールはどのようになっているのか。

農林水産課長 基本方針策定には県との意見調整を図る必要があり、県の農政課と住宅課へはすでに策定の移意向は伝えて

おり、基本方針案がましまり次第、県との調整を行っていききたい。

議員 農業振興地域整備計画の見直しの予定はいつか。

農林水産課長 本村の農業振興地域整備計画は昭和五十一年度に策定後、六十年、平成五年、十五年と概ね十年間隔で見直しを実施しており、今後の見直しについても、平成二十五年が目安になっていないかと思っております。

議員 今後は調整区域内でもいろんな方法で住宅の建設が進んでいくと思えます。農業生産地域と住宅地域との調和を図り、農と住が共生できるような施策が大事になると思うが村長の見解は。

村長 行政懇談会の中でも、どの地域でも話でてくるのが、何とか住宅を建てられないかという部分が大変多かった。それを実現させるという意味と、守るべきものはしっかり守り、施策を展開していきたい。

北上原分校の跡地利用計画



伊佐則勝 議員

議員 北上原小(仮称)開校に伴う北上原分校の跡地利用計画は。

村長 公共的な施設として、一時的にせよ利用できないかを考えております。教育委員会と協議していきたいと思っております。

議員 例えば、災害時の食料等の備蓄施設として活用できないか、提案するかどうか。

副村長 今、基本的には児童相談所の現在地からの移転活用も含め、教育委員会と相談しながら次

年度には施設活用について確定したいと思っております。

災害時の避難協定

議員 災害時の一時避難施設として、県消防学校と避難協定締結について検討すべきと思うがどうか。

総務課長 消防学校へ照会したところ、県内で広域的な災害が発生した場合、国県など広域的な支援部隊の派遣拠点になることから、村との協定は厳しいとの返事をもたらしております。

議員 津波災害を想定した場合、北側に位置するゴルフ場、北上原地区における大手量販店等として、一時避難場所として協定交渉を進めるべきと思うかどうか。

総務課長 一時避難場所として、今後、民間施設と協定締結を検討していきたいと思っております。

広域火葬場建設整備

議員 現在、宜野湾市・

北谷町・西原町・北中城村・中城村の一市二町二村により、広域火葬場の整備について、基本構想等を協議する場が設けられていると思うが、進捗状況はどうか。併せて村長の見解を伺いたい。

村長 施設の必要性は十分感じており、総論的には推進をしていきたいと思っております。

企画課長 これまで市町村の連絡調整会議という形で三回程会合を持っており、次回に向けて本格的に起動させる為に要綱案等の審議をして、正式にスタートさせる準備段階まではきています。

議員 今後の見通しは。

企画課長 総事業費の捻出、建設場所の問題等地域対策などの大きな課題が想定されます。その辺はどうクリアできるかを新たに作る組織において、努力していきたい。

村長 五市町村一つになつて頑張っていきたいと思っております。

北谷町・西原町・北中城村・中城村の一市二町二村により、広域火葬場の整備について、基本構想等を協議する場が設けられていると思うが、進捗状況はどうか。併せて村長の見解を伺いたい。

村長 施設の必要性は十分感じており、総論的には推進をしていきたいと思っております。

企画課長 これまで市町村の連絡調整会議という形で三回程会合を持っており、次回に向けて本格的に起動させる為に要綱案等の審議をして、正式にスタートさせる準備段階まではきています。

議員 今後の見通しは。

企画課長 総事業費の捻出、建設場所の問題等地域対策などの大きな課題が想定されます。その辺はどうクリアできるかを新たに作る組織において、努力していきたい。

村長 五市町村一つになつて頑張っていきたいと思っております。

村道、農道の整備状況



仲宗根 哲 議員

議員 平成二十二年度三月議会で一般質問をしました南浜公民館前から西原町境までの一級村道「潮垣線」の整備拡張の件で、村長は優先的な部分か、利用頻度の情報収集に担当課と検討すると言われておりましたが。

村長 今年度はメニュー的な部分での対応はできません。次年度にそのメニューが出てくるのか、自主財源だけでは意外と金のかかるような話も聞いておりますので、それとの抱き合わせで考えていきたいと思っております。

都市建設課長 村道潮垣

線は、土地改良事業で整備された路線で、南浜公民館前の整備については、村単独での予算が厳しく道路整備については補助等の採択条件に見合う事業を導入し、整備を図っていききたいと思います。当面は現道路を維持管理で対処していききたいと思います。

河川や排水路の管理状況

議員 土地改良の河川や排水路は整備されておりますが、生活排水路と合流している所もありますが、村としてはどのように把握しているのか伺います。

都市建設課長 維持管理上の修繕等が発生した場合には、現場を確認して対処しています。その他の排水路については、道路台帳及び公図、国有財産特定図面等により把握しております。

農林水産課長 土地改良区の排水は事業完了から十数年経過して大分老朽化している所が多々あると認識しています。農業農村整備計画に基づいて劣化の著しい箇所から順次整備は行っているが、

未整備の箇所がまだ多い状況です。今年度は単年度限りの国庫補助事業で、和宇慶地区の排水路と地下タンクの専門ゲートの整備を実施していきます。今後単年度の事業等があれば、各交付金事業で将来の採択に見合う事業を導入して、今後も整備を図っていききたいと思います。

議員 和宇慶土地改良区において台風二号、九号の影響で農作物に相当の被害が出ており、土地改良区の排水路に土砂が堆積している所がたくさんあるが、図面でなく現場を見て回ったことがあるか伺います。

農林水産課長 現場を踏査して状況を把握し、農林水産課で対応できる部分は今後もやっていきます。出来ないことについては都市建設課の維持管理の方で対処していきたいと考えています。

議員 農家の皆さんが安心して、安全な農業ができるように早目早目に手を打って、農作物に被害が出ないようにお願いします。

平成23年度

9月定例議会

(平成23年9月11日)



中城村暴力団排除条例可決される！

村民の安全かつ平穏な生活の確保を図るため暴力団員による不当な行為を排除する目的で暴力団排除条例が全会一致で可決されました。その他、以下の議案も第4日目9月15日(木)の本会議で可決。30日(金)最終日、本会議において「地元産品奨励及び地元企業優先使用」の陳情案件など7件、「不発弾処理等に関する意見書」、「燃油税制にかかる特別措置に関する意見書」の2件を採択しました。



中城村公平委員会の事務委託に関する規約



中城村税条例の一部を改正する条例



中城村総合計画審議会条例の一部を改正する条例



中城村固定資産評価委員会委員の選任 仲 眞 初 美 (屋宜)

行きました 見ました やってみます

クローズアップ

ありんくりん 確にん

中城城跡の城壁整備・ 遺溝発掘調査状況を視察

先人が残した歴史的な
価値を再認識



温故知新を行動で示し続けている

平和の波(戦没者刻銘) の修復整備

恒久平和を後世に伝える



移設修復が完成した戦没者の刻銘を見て
平和の尊さを再認識し世界平和を決意する

障がい者地域 活動支援センター 「むつみ」が台風で被害

早急な対応が求められる



施設利用者のために早期復旧を思案する

奥間中央線メーガーラの 橋が新しくなった 安心して渡れます



自ら橋の上に立ち安全性を確認する

平成25年度開園予定の (糸蒲公園)工事進捗状況

高台から美しい中城湾が見渡せる
絶景の憩いの場になってることを確認



子ども達の笑顔を目に浮かべ
これからも完成するまで見届ける

9月定例会会期の合間に平成23年度の主要施策
事業の執行状況などの視察をしました。

平成23年9月23日

中城発展に尽くしていただいた中城村議会議員OBの三氏に敬意！ 平成23年11月13日
功労表彰を 知念政光氏 喜舎場健二氏、善行表彰を 米須清忠氏 が受賞



一 研修会レポート
**沖縄21世紀
 ビジョン策定
 の方向性**

第八回村文化まつりの二日目に行われた中城村功労者・善行者表彰式において、元村議会議長米須清忠氏が村人材育成基金へ多額の寄付を通し、人材育成へ貢献した功績により善行表彰を受賞、三期十二年村議会議員として、地方自治の振興、村勢発展に大きく貢献した功績により前議員の知念政光氏、喜舎場健二氏が功労表彰を受賞。また、中城村商工会もボランティア清掃活動などへの貢献が認められ団体として善行表彰を受賞した。

今後の20年長期基本構想について概要を解説

新たな沖縄振興に向けた枠組みについて**県町村議員、事務局職員研修会**が那覇市のパシフィックホテル沖縄で10月25日(火)に行われた。

これまでの沖縄振興の枠組みは「国の計画」として策定されてきた。現行の法律や制度から見えてきた課題を整理、総括し今後20年の基本構想は「県の計画」へ県民が主体性を持って予算措置の役割を担う『沖縄振興一括交付金』の創設を国に求める自由度の高い振興計画策定を目指す必要性などが主要テーマとなった。

第2部は、3月11日に発生した東日本大震災から類推される「**沖縄地方の大津波発生時**」の被害想定に琉球大学工学部教授仲座栄三氏が講演。災害時の備えなど被災地から学ぶ教訓として改めて考える意義深い研修の機会となりました。



議会だより編集委員



新垣博正 金城 章 伊佐則勝 仲真功浩 新垣光栄 新垣徳正

「喜びは行動とともにやってくる」「幸福は行動の中にしかない」との名言があります。

私たち、議員十六名は、村民の幸福のため、喜びのため村民の目線で行動していくことをお約束いたします。来年は、今後十年の進むべき指針である第四次中城村基本構想の策定の年です。安全・安心で活力あるまちづくりのために、皆さまからのご意見と御指導をよろしく願います。

(新垣 光栄)

編集後記

慌ただしい師走の候となりましたが、村民の皆さんいかがお過ごしでしょうか。今回は九月定例決算議会を中心に「議会だより」二十九号をお届け致します。

環太平洋連携協定(TPP)交渉・第五次沖縄振興開発計画で県が要望する一括交付金制度・八重山地区の教科書問題等、県内外で様々な課題があります。

本議会においても村の諸課題に対して、十二名の議員が一般質問を行いました。議員それぞれが村の懸案事項の解決へむけ、村民の福祉向上のため様々な議論を行いました。

題字募集!

「ぎかいだより」の題字の募集をします
 (ぎかいだよりの文字を横書きと縦書き)

中城村の児童・生徒のみならず、上手いも下手も関係ありません！あなたの字のままでいいんです
 お問い合わせは中城村議会事務局 (☎895-4318) まで